平成28年9月

道北支部ニュース

第112号

発行人　前田　健太郎
編集人　近藤　伸英

Index

✓新人挨拶
✓道北支部活動報告
✓道北支部掲示板
✓支部役員会議議事録

新人挨拶

少々遅くなりましたが、今回は今年卒業した新人の先生に文章を書いていただきました.

旭川厚生病院
理学療法士　　神長　翔

4月から旭川厚生病院で理学療法士として務めさせていただいております、北都保健福祉専門学校出身の神長翔です。

私の家族は全員が医療職であり、自分も医療職に就きたいと小さい頃から思っていました。中学生の時は部活動での怪我が多く、なんども病院へ通っていました。その中でリハビリテーションというものを知り、理学療法士という職業を知りました。その時、自分も怪我をした人の手助けをしたいと思い理学療法士を目指しました。

学生生活では楽しいことだけではなく、辛いことも沢山ありました。その中でも4年生の総合実習では終末期の患者さんとのかけがえのない経験をしました。その時の患者さんとの出会いがより一層理学療法士になりたいという気持ちを強くし、辛いことを乗り越える糧になったと思います。知識や技術面での不足は当然ありましたが、患者さんとのコミュニケーションの大事さ、一人の人としての振る舞いかたなど、人として少しは成長できたのではないかと思いました。また学生生活を思い返すと、実習の経験も大切な経験ですが、学校で一緒に学び気軽に相談しあえた同期の大切さを改めて実感しました。

4月から今日まで刺激的な日々が続き気付けば5ヶ月が経っており、少しずつ新しい環境に慣れてきました。しかし、学生として臨床に立つのと理学療法士として臨床に立つのとでは想像以上に違いがありました。実習生のころは一人の患者さんに沢山の時間をかけながら評価をして治療を行わせていただきました。実際には評価と治療を同時に進める必要があり時間も限られています。また実習生の時はリハビリテーションだけで患者さんの今後のことを考えていましたが、他職種の方とチーム医療の重要性を働いてから改めて感じました。

まだできないこと、わからないことだらけですが、初めて理学療法士を目指そうと思ったときの気持ちと、実習で出会った患者さんとの経験を活かし、理想としている理学療法士になれるよう勉強を続け、先輩方からたくさんの知識と経験を学んでいきたいと思います。これからも一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

道北支部活動報告

Sweet Girls Run

道北勤医協一条通病院
理学療法士　河野健太

今回、9月11日に開催されました「第6回SWEET　GIRL　RUN」の理学療法サポートに参加させて頂きました。参加人数は総勢279名となっており、参加者全員が女性で年齢層も幅広く、参加理由も健康やダイエットの為や仮装をして走るなど楽しむことを目的としている方が多かったです。毎年大会当日は悪天候と聞いていましたが、今年は天候に恵まれ多くの参加者で盛り上がりました。

理学療法士としてのサポート活動の内容として、競技者のメディカルチェック、スタート前後のウォーミングアップやクーリングダウンの実施とストレッチなどのセルフケアの指導を行いました。また普段の生活の中での健康相談を受けたり、健康増進に関する資料を作成し、健康に対する意識を高めることを目的として資料を配布しました。理学療法サポートを受けた人数は競技前後含め過去最高の74名でした。

サポートを受けて頂いた参加者からは「去年もサポートを受けている」「何回もお願いしている」「他の大会でもしてもらっています」など理学療法サポートの認知度が少しずつ高まっていると感じました。また「理学療法士はいろいろな事を知っているのですね」「理学療法サポートってどこで受けられるのですか」などといった理学療法士に対する興味や、またサポートを受けたいという事を聞く事ができ、理学療法士という職種を多くの人に知っていただいていると実感しました。実施時間も限られており、サポートを受けた参加者に対して治療効果という面では少し苦労しましたが、「少し楽になりました」「次もお願いします」などの言葉を頂き、とても嬉しく思いました。

今回、理学療法士としてスポーツ支援という形での活動は初めてであり、緊張と戸惑いがありましたが経験者や先輩スタッフが指導していただき、スムーズに進めることができました。また、普段の業務でリハビリ対応する患者層ではないことや15～20分という限られた時間の中で評価や情報収集し、その中で仮説を立ててアプローチをするという機会はほとんどないため良い勉強になりました。

今後もこのような活動があれば積極的に参加し丁寧かつ正確な対応を心掛け、理学療法士という仕事をもっと多くの人に知って頂きたいと感じました。

道北支部　平成28年度第1回研修会

旭川日赤病院
理学療法士　北山謙一郎

　8月20日に開催された北海道理学療法士会道北支部平成28年度第１回研修会に参加致しました。テーマは「体表解剖の臨床応用～触れれば、変えられる～」で、講師は曽我病院リハビリテーション診療部の祝広孝先生でした。私は理学療法士となり11年目を迎えましたが、日々の臨床において体表解剖や触診の難しさ、重要性を感じつつも、しっかりと復習や研鑽をする機会をもてずにおり今回この研修会に申し込みました。
　今回の講義・デモンストレーションの主な話は、MES（筋腱移行部及び腱骨移行部刺激）というテクニックについてでした。その理論背景は筋構造・ゴルジ腱器官・関節周囲の機械受容器・Ib抑制、そして筋緊張抑制で、いずれも特別な難しい知識ではなく、学生時代に学んだ基本的な知識でした。私がイメージしている筋線維の構造や腱移行部が実際と相違していることなども実感し，基礎知識の大切さをあらためて考え・学ぶことができました。
　実技では健常者間ではありながら的確に触れることができれば、関節可動域や筋出力に変化や反応を引き出すことができることを体感しました。そして、刺激量は私が日常患者様に対しておこなっているものよりも限りなく小さな力であり今後の臨床を見直す機会ともなりました。
　また、関節運動の問題には様々な因子が影響していますが、MESの評価を用いることにより、筋の機能不全の問題を解決することができ、本質的な器質的な変化（問題）を明らかにして、的確な臨床推論の構造に基づく適切なアプローチの選択が可能となるということを学びました。
　今回の研修を通して基本的な知識の重要性を再認識できたことをスタッフ間でも共感しあいながら今後の臨床に活かしていきたいと思います。
　この度はこのような機会を頂き、関係各所の皆様には心より感謝いたします。

道北支部掲示板

旭川地域会員の皆様へ

地域包括ケアシステムの推進の中で、リハビリテーション専門職は「地域ケア会議への参加」、また「住民の通いの場への支援」など、地域における活動が求められています。

旭川市では平成29年4月より地域リハビリテーション活動支援事業にリハビリテーション専門職を派遣していくことを事業化する方向で動いています。具体的には運動サークルやサロンなどへの評価や指導（講話含む）が求められることになっていきます。

すでに活動されている方もいますが、旭川市全体では運動サークルでも180か所以上あり、またサロンなども含めると対象となるサークルが多い状況で、現状では対応の枠を超えている状況です。つきましては、会員の皆様の中でも地域の介護予防をはじめとする支援活動にご興味関心がある方、または関連部署をお持ちの施設様の協力をお願いしたいと考えております。

道北地区理学療法士会におきましては、今後介護予防事業に向けた取り組みを推進するため、多くの会員の協力を求めています。しかしながら運動サークル支援の方法や対応など不明な点や参加に不安を感じている会員の方もいるかと思います。

つきましては、現状行われておりますサークルへの見学会を予定しています。事務局から定期的に開催状況のご案内を行いますので参加希望の会員の方は窓口までお申し込みください。

職能部　地域包括ケア担当　小林　浩

～学術部より重要なお知らせ～

支部事業に関しては完全事前申し込み制を導入いたしております。これは当日の突発的なキャンセル防止、運営スタッフの負担軽減を主目的に北海道理学療法士会の指示で行っております。ついては、事業の申込締切日時点までのものを有効としています。従いまして、事業に関しては事前申し込みがない方が、直接、会場に来場した場合は受講不可となります。また、事前申し込みをしたが期日までに事前入金をしていない場合も同様の扱いとなります。

協会主催の研修会等には必ずご持参下さい！！

忘れた場合には

受付事務手数料（200円）が

徴収されてしまいます。

議事録

平成28年度第３回道北支部役員会議

日付：平成28年9月5日
時間：19:00~20:30
場所：旭川市市民活動交流センターCoCoDe
出席者(12名)：木村・前田・千葉・齊藤・岩瀧・糸田・内藤・太田・片野・
小林・近藤・阿部

議題：支部長報告
内容：
(1)支部長活動報告
平成28年8月21日（日）H28年度第１回拡大支部事業局会議（ｶﾐﾔﾏﾋﾞﾙ会議室）に木村理事と出席
結果：承認

議題：理事報告
内容：
(1)理事活動報告
平成28年8月20日（土）H28年度第１回北海道ﾌﾞﾛｯｸ協議会（ｶﾐﾔﾏﾋﾞﾙ会議室）
・平成27年度事業報告ならびに決算書・平成29年度事業計画ならびに予算案について
平成28年8月20日（土）H28年度第２回臨時理事会（ｶﾐﾔﾏﾋﾞﾙ会議室）
・派遣・推薦：旭川ふるさと旅行株式会社主催「ｽﾄﾚｽｹｱﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」講師（8/25、9/8、9/29）千葉 恒会員
・H30年度以降の学術大会のあり方について：平成30年以降の北海道理学療法士学術大会を従来の秋開催から春～夏開催へ変更。５支部（札幌、十勝、道北、胆振、道南）輪番制になる予定。H30年6月末は札幌。H31十勝。H32道北。
・H30年度以降の研修大会のあり方について：従来の春開催の全道学術研修大会を廃止し、全道各支部における研修大会へ移行する。支部事業として、２～３年に１回の頻度で開催できるよう全道研修会援助金も各支部へ分配。補助金付の支部事業となり、ﾐﾆ学会や新人教育ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ研修会などとのﾏｯﾁﾝｸﾞなど自由度が高い。
平成28年8月21日（日）H28年度第１回拡大支部事業局会議（ｶﾐﾔﾏﾋﾞﾙ会議室）
・各支部第１四半期報告
・支部長と地区理事との分掌（立ち位置）：各支部で決めていく
・予算の分配や使い方について
(2)理事活動予定
平成28年10月29日（土）H28年度第２回定時理事会（ｶﾐﾔﾏﾋﾞﾙ会議室）
結果：承認

事務部報告
内容：
(1)活動予定
道北支部ﾆｭｰｽ112号発行予定
結果：承認

議題：学術教育部報告
内容：
(1)活動報告
平成28年7月20日　道北支部平成28年度第１回症例検討会（部門：小児）
27日　道北支部平成28年度新人教育ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ選択研修会3-1
（ﾃｰﾏ：ﾃｨｰﾁﾝｸﾞとｺｰﾁﾝｸﾞ）
8月20日　道北支部平成28年度第１回研修会
（ﾃｰﾏ：体表解剖学の臨床応用～触れれば変えられる触察技術を用いた筋ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ～）
(2)活動予定
平成28年9月14日　道北支部平成28年度第２回症例検討会
結果：承認

議題：社会部報告
内容：
(1)活動報告
○第98回全国高等学校野球選手権大会　北・北海道大会旭川支部予選、名寄支部予選
平成28年6月28日（火）～7月5日（火）
場所：旭川／旭川ｽﾀﾙﾋﾝ球場、名寄／稚内大沼球場
○第98回全国高等学校野球選手権大会　北・北海道大会
平成28年7月15日（金）～7月23日（土）
場所：旭川ｽﾀﾙﾋﾝ球場
○理学療法の日ｲﾍﾞﾝﾄ(富良野)
平成28年7月16日（土）13時～15時
場所：かわむら整形外科
報告：昨年と同様に市民対象に体力評価を実施して体力評価結果のフィードバックを行った。昨年よりもイベントの周知範囲を拡大したが参加者が1名と少なく検討が必要。
○理学療法の日ｲﾍﾞﾝﾄ(旭川)
平成28年7月17日（日）9時～15時
場所：旭川西ｲｵﾝ3Fｲﾍﾞﾝﾄｽﾍﾟｰｽ
報告：ｲｵﾝﾍﾟｯﾄ前のｽﾍﾟｰｽ(普段はﾍﾞﾝﾁが置いてある)をｲﾍﾞﾝﾄｽﾍﾟｰｽとして使わせて頂いた。1日で約100名以上の来場があった。

(２)活動予定
○旭川西ｲｵﾝでの介護予防事業
平成28年9月30日(金)
場所:旭川西ｲｵﾝ1Fｸﾞﾘｰﾝｺｰﾄ
進捗状況：春光・春光台、北星・旭星地域包括支援ｾﾝﾀｰ職員、職能部、社会部で行う予定
○第69回秋季高等学校野球大会旭川支部予選、名寄支部予選
旭川/平成28年9月9日(金)～9月15日(木)
名寄/平成28年9月15日(木)～18日(日)
場所：旭川/旭川ｽﾀﾙﾋﾝ球場、名寄/稚内大沼球場
進捗状況：道士会へ申請済、ｻﾎﾟｰﾄﾒﾝﾊﾞｰ決定済
○第6回Sweet girl run
平成28年9月11日(日)　7:30～15:00
場所：北海道旭川市宮前東　CoCoDe
内容：競技者に対してｱｲｼﾝｸﾞ、ｽﾄﾚｯﾁ、ﾏｯｻｰｼﾞ、身体管理方法の指導、理学療法の啓発などを行う。
進捗状況:9名のｽﾀｯﾌ(定員10名)でｻﾎﾟｰﾄを行う予定。9月7日に事前研修会を一条通病院で行う。
○第8回旭川ﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ
平成28年9月27日(日) 8:00～15:00
場所:旭川市花咲ｽﾎﾟｰﾂ公園陸上競技場
内容：Sweet girl run同様
進捗状況：19名のｽﾀｯﾌ(定員20名)でｻﾎﾟｰﾄを行う予定。道士会へ申請済。9月7日に事前研修会を一条通病院で行う。
結果：承認

議題：職能部報告
内容：
(1)活動報告
・旭川西ｲｵﾝでの介護予防事業
日時：平成28年9月30日（金）
場所：旭川西ｲｵﾝ1Fｸﾞﾘｰﾝｺｰﾄ
進捗状況:春光･春光台、北星･旭星地域包括支援ｾﾝﾀｰ職員、職能部、社会部で活動内容を検討中。平成28年6月9日(木)、8月10日(金)に会議を実施。
企画趣旨:地域住民に対する介護予防活動の啓蒙･啓発等に資する活動として実施したい。
目的:①高齢者のための生活不安の解消⇒「無料相談ｺｰﾅｰ」
②基礎体力の自己理解⇒「体力測定の実施」
③筋力維持の必要性の啓発⇒「二次予防事業の説明」や「運動機能維持のための取り組み促し」

(2)その他
１．地域ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ活動支援事業進捗状況（9/１ 旭川市　POS会議開催）
前回からの変更点
○４回（評価・指導×２回）事業とみなし報酬支給
⇒２回（評価・指導）で事業とみなす。同ｻｰｸﾙに2回入ってもよいが、期間は3ヵ月空ける。導入に際しては保健師と検討を行う。
○運動ｻｰｸﾙ･ｻﾛﾝともに対応可能
○旭川市内各包括からの依頼が出る。対応について不均衡が生じない対応が必要。
○報酬は5千円後半/回
○9/23 旭川市生活支援体制整備検討委員会で承認される予定
2.運動ｻｰｸﾙ･ｻﾛﾝ開催支援研修会(ｽﾀｯﾌ向け)
運動ｻｰｸﾙにおける対応について
評価について
指導について(講話、実技指導等)
同行及び見学同行について(開催状況の周知等)
･同行及び見学については、道北支部ﾆｭｰｽでの周知や、支部ﾒｰﾙ･FAXで案内をしていく。
3.運動ｻｰｸﾙ･ｻﾛﾝ講話及び運動指導用資料の共有化
ﾍﾞｰｽ資料の作成
発表ﾃﾞｰﾀの共有化(修正利用等)
ﾃﾞｰﾀの管理
4.運動ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱﾘｰﾀﾞｰ養成講習会の開催について(地域住民対象)
資料について説明
各包括保健師会･旭川市
9/20 現状の介護予防ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ養成・課題等について検討会予定
結果：承認

議題：会計部報告
内容：会計状況報告
結果：承認

議題：地区幹事報告
内容：
(1)活動報告・予定
○上川中部地区
・上川中部地域ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ推進会議:8月9日
･地域ｷｬﾗﾊﾞﾝin稚内：7月23日『中枢神経疾患に対する装具療法』→参加者25名
○上川北部地区
・難病に関する研修会　（10月　名寄市で開催調整中）
・事例検討会　1回　（未定）

○宗谷地区
・地域ｷｬﾗﾊﾞﾝin稚内:7月23日『中枢神経疾患に対する装具療法』→来年度も継続希望
・高野連名寄支部ﾒﾃﾞｨｶﾙｻﾎﾟｰﾄ:昨年同様、名寄地区と協同で準決勝・決勝のｻﾎﾟｰﾄ 9/17、18（秋季）予定
・北海道ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門職協会(HARP)の地域ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ指導者養成研修:8月28日
・宗谷地域広域支援ｾﾝﾀｰの研修会:10月22日
　　ﾃｰﾏは『認知症』(内容はﾕﾏﾆﾁｭｰﾄﾞ、ｹｱｶﾌｪで調整中)
・宗谷地域広域支援ｾﾝﾀｰの事例検討会：11月11日
○留萌地区
・留萌地区で症例検討会： 9月14日
○富良野地区
・富良野地域の介護予防事業（ﾓﾃﾞﾙ地域）の運営
・地域住民に向けた介護予防講演会
・理学療法の日 ｲﾍﾞﾝﾄ開催（体力測定や講演）　7月16日
・社会福祉協議会主催　健康祭り（体力測定・理学療法の啓蒙活動）9月11日
・富良野地区研修会『地域包括におけるｾﾗﾋﾟｽﾄの肝』鈴木　英樹先生　6月2日
結果：承認

議題：全体集会について
内容：2016年12月10日（土）　全体集会開催予定　会場：旭川赤十字病院講堂
結果：承認

議題：次回役員会開催日程について
内容：10月17日（月）開催予定　会場：旭川市市民活動交流ｾﾝﾀｰCoCoDe
結果：承認

文責者：道北支部　事務部　部長　阿部　慎一

<次号予定>

- ✓ **PT人**
- ✓ **支部事業活動報告**
- ✓ **道北支部掲示板**
- ✓ **平成28年度第4回道北支部役員会議議事録**

～編集後記～

今年の夏は北海道を台風が襲い、道北地区の富良野や稚内などでも大きな被害がありました。台風の被害に遭われた方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

特に南富良野では甚大な被害に見舞われ、避難生活を余儀なくされている方々が多くいます．富良野方面の先生方の中には、ボランティア活動に参加された方もいます。今回、小林先生に旭川地域の地域包括ケアシステの活動について簡単に書いていただきました。今後、理学療法士として、地域の人間として、ますます地域との結びつきを大切にしていくことが重要だと改めて感じました。

問い合わせ先
北都保健福祉専門学校　近藤伸英
E-mail:kondoun@hokuho.ac.jp